



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <https://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	164,360	3.6	10,869	48.1	10,965	25.9	7,750	44.7
2025年3月期第3四半期	158,647	1.5	7,341	28.2	8,706	25.6	5,354	5.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,586百万円(40.4%) 2025年3月期第3四半期 6,116百万円(△28.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	80.54	—
2025年3月期第3四半期	55.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	344,273	147,258	42.7
2025年3月期	312,462	141,656	45.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 147,150百万円 2025年3月期 141,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.50	—	14.50	29.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	214,600	1.8	13,500	13.6	13,500	1.8	9,500	98.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	97,244,472株	2025年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,002,035株	2025年3月期	1,017,041株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	96,234,668株	2025年3月期3Q	96,471,063株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外客数が過去最多となる年間4,000万人を突破するなど回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇により実質賃金がマイナスで推移するなど個人消費の下振れが懸念されております。また、日中関係の悪化に伴う経済に与える影響、長期化する地政学リスク、為替及び長期金利の動向など不確実性の高い要因により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは前期より8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グロース領域」と安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル領域」の2つにグループینگをし、それぞれに適した経営資源の配分や事業展開を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は164,360百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は10,869百万円（同48.1%増）となりました。経常利益は前年同期と比べ為替差益が増加した一方で、支払利息の増加やシンジケートローンの締結にかかわる支払手数料が発生したことなどにより10,965百万円（同25.9%増）となりました。また、投資有価証券売却益が前年同期と比べ増加したことなどにより親会社株主に帰属する四半期純利益は7,750百万円（同44.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔プロパティ事業〕

国内ホテル事業においては、国内旅行需要の高まりや訪日外客数が増加したことなどにより増収増益となりました。国内都市型ホテルにおいては、すべてのホテルが堅調に推移し増収増益となりました。訪日中国人観光客の減少による影響は2025年12月末時点においては限定的となっており、札幌エリアや万博が開催された大阪エリアの稼働率や客室単価が上昇し、好調な推移となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、すべてのホテルで売上が伸長したことや2025年9月に取得した秋保温泉のホテル瑞鳳、秋保グランドホテルの上乗せ効果もあり増収増益となりました。また販売用不動産の売却により1,042百万円の売却益が発生しました。この結果、売上高は37,042百万円（同40.6%増）となり、セグメント利益は6,482百万円（同56.5%増）となりました。

〔化粧品健康食品事業〕

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数減少や新規購入者の定期コースへの引上げ率低下などにより減収となりました。一方で、非効率な広告宣伝を控え収益性の確保を優先したため増益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客の獲得効率改善は不十分であったものの、既存顧客の定期コース継続率が改善傾向となったため減収増益となりました。この結果、売上高は8,514百万円（同15.2%減）となり、セグメント利益は647百万円（同346.9%増）となりました。

〔グルメ事業〕

グルメ通販事業においては、食品頒布ジャンルが好調に推移したことに加え、卸売上の増加により増収となりました。一方で、媒体効率が前年同期と比べ低下したことや原価率の高い卸売上の構成比が上昇したことなどにより減益となりました。ワイン通販事業においては、円安の影響により原価率は悪化しましたが、新規顧客獲得が好調に推移したため増収増益となりました。この結果、売上高は26,447百万円（同4.9%増）となり、セグメント利益は1,147百万円（同3.9%増）となりました。

〔ナース関連事業〕

看護師向け通販事業においては、一部販売経路における商品価格やサービスレベルの見直し、カタログ媒体の発行数量を抑制するなど収益性の改善を重視したため減収増益となりました。不採算事業であった看護師転職サイト「ナースキャリアネクスト」のサービスを2025年6月30日に終了したこともあり、この結果、売上高は9,186百万円（同3.3%減）となり、セグメント利益は470百万円（同36.5%増）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、S C閉鎖に伴う既存店舗の減少や1店舗当りの購入者数が前年同期と比べ減少したことなどにより減収となった一方で、仕入原価の改善及び販売単価が上昇したため増益となりました。衣裳レンタル事業においては、早期受注会の実施拡大による卒業式袴レンタルの受注増加により増収になった一方で、受注関連経費が増加したため減益となりました。この結果、売上高は13,756百万円（同2.9%減）となり、セグメント損失は1,081百万円（前年同期は1,055百万円のセグメント損失）となりました。

〔アパレル・雑貨事業〕

アパレル・雑貨通販事業においては、原材料や資材の価格が高止まりする中、DM配送費の値上げも受けたため、収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図りました。不採算事業であったファッションE Cモール、インポートブランド品E Cサイトのサービスを終了したことにより減収となりましたが収益性は改善いたしました。この結果、売上高は54,608百万円（同7.9%減）となり、セグメント損失は58百万円（前年同期は942百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸売事業においては、クライアント各社の展開縮小が継続している一方で、在庫処分が前年同期と比べ減少したことなどにより減収増益となりました。旅行代理店事業においては、成長性を加味した事業展開を図ったため増収となり収益性が改善しました。この結果、売上高は2,404百万円（同7.2%増）となり、セグメント損失は181百万円（前年同期は302百万円のセグメント損失）となりました。

〔データベース活用事業〕

封入・同送サービス事業においては、アパレル・雑貨通販事業におけるカタログ発行数及び商品発送数の減少などにより減収減益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、物流サービス及びコールセンターサービスにおいて新規クライアントが順調に獲得できたことや既存クライアントの売上げが拡大した一方で、人件費が上昇したことなどにより増収減益となりました。ファイナンス事業においては、前年同期と比べ新規申込数が増加したことや効率的に新規顧客を獲得できたことなどにより増収増益となりました。この結果、売上高は13,426百万円（同4.7%増）となり、セグメント利益は3,495百万円（同11.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比9,620百万円増加し、141,064百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4,709百万円、営業貸付金が2,285百万円増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末比22,190百万円増加し、203,208百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が12,483百万円、土地が7,527百万円、建設仮勘定が2,669百万円、投資有価証券が1,387百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比31,810百万円増加し、344,273百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比373百万円減少し、61,242百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,996百万円、契約負債が2,377百万円増加した一方で、短期借入金が4,876百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比26,583百万円増加し、135,772百万円となりました。これは主に、長期借入金が26,373百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比26,209百万円増加し、197,015百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比5,601百万円増加し、147,258百万円となりました。この結果、自己資本比率は42.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月13日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,414	36,054
受取手形及び売掛金	10,866	15,576
営業貸付金	34,466	36,752
有価証券	314	232
商品及び製品	25,664	26,601
原材料及び貯蔵品	1,372	1,405
販売用不動産	7,182	7,034
仕掛販売用不動産	1,690	1,616
その他	15,448	16,803
貸倒引当金	△978	△1,012
流動資産合計	131,443	141,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,031	96,514
機械装置及び運搬具（純額）	7,299	6,752
工具、器具及び備品（純額）	2,575	2,287
土地	47,410	54,937
リース資産（純額）	1,813	1,810
建設仮勘定	2,823	5,493
有形固定資産合計	145,954	167,795
無形固定資産		
のれん	2,682	2,372
リース資産	556	401
その他	8,581	8,144
無形固定資産合計	11,820	10,918
投資その他の資産		
投資有価証券	14,576	15,963
長期貸付金	1,986	2,062
破産更生債権等	271	220
繰延税金資産	1,318	828
その他	5,835	6,150
貸倒引当金	△744	△731
投資その他の資産合計	23,244	24,494
固定資産合計	181,018	203,208
資産合計	312,462	344,273

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,601	12,598
電子記録債務	3,259	2,934
未払費用	13,995	14,741
短期借入金	24,849	19,973
1年内償還予定の社債	5	-
リース債務	472	428
未払法人税等	2,678	2,198
契約負債	3,452	5,829
賞与引当金	984	533
店舗閉鎖損失引当金	65	-
その他	2,251	2,003
流動負債合計	61,616	61,242
固定負債		
長期借入金	102,853	129,227
利息返還損失引当金	242	232
リース債務	2,079	2,011
退職給付に係る負債	223	259
役員退職慰労引当金	249	248
資産除去債務	1,069	1,079
修繕引当金	147	169
その他	2,324	2,544
固定負債合計	109,189	135,772
負債合計	170,805	197,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	11,375	11,378
利益剰余金	118,956	123,867
自己株式	△794	△782
株主資本合計	140,149	145,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,136	3,236
繰延ヘッジ損益	159	224
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△1,163	△1,383
退職給付に係る調整累計額	38	3
その他の包括利益累計額合計	1,164	2,074
非支配株主持分	342	107
純資産合計	141,656	147,258
負債純資産合計	312,462	344,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	158,647	164,360
売上原価	62,690	62,889
売上総利益	95,956	101,470
販売費及び一般管理費	88,615	90,601
営業利益	7,341	10,869
営業外収益		
受取利息	253	278
受取配当金	472	447
為替差益	1,044	1,123
助成金収入	5	95
その他	445	377
営業外収益合計	2,221	2,322
営業外費用		
支払利息	523	978
支払手数料	86	948
減価償却費	17	15
店舗閉鎖損失	98	125
その他	130	159
営業外費用合計	855	2,226
経常利益	8,706	10,965
特別利益		
固定資産売却益	6	4
投資有価証券売却益	141	1,103
投資有価証券償還益	0	-
特別利益合計	148	1,107
特別損失		
固定資産除却損	32	4
減損損失	36	342
投資有価証券評価損	223	30
和解金	14	9
その他	139	157
特別損失合計	445	544
税金等調整前四半期純利益	8,409	11,528
法人税、住民税及び事業税	3,096	3,811
法人税等調整額	△59	37
法人税等合計	3,037	3,849
四半期純利益	5,372	7,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	△70
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,354	7,750

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,372	7,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	1,099
繰延ヘッジ損益	△210	65
為替換算調整勘定	1,127	△223
退職給付に係る調整額	20	△35
その他の包括利益合計	744	907
四半期包括利益	6,116	8,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,067	8,660
非支配株主に係る四半期包括利益	48	△73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データベース活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	25,953	10,044	24,908	9,504	14,101	59,140	2,199	12,794	—	158,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	397	1	310	—	67	139	43	27	△987	—
計	26,351	10,045	25,218	9,504	14,169	59,280	2,243	12,822	△987	158,647
セグメント利益(又はセ グメント損失△)	4,141	144	1,104	344	△1,055	△942	△302	3,939	△33	7,341

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳215百万円とのれん償却費△249百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データベース活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	36,598	8,513	26,119	9,186	13,665	54,522	2,372	13,382	—	164,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443	0	328	0	91	86	31	43	△1,026	—
計	37,042	8,514	26,447	9,186	13,756	54,608	2,404	13,426	△1,026	164,360
セグメント利益(又はセ グメント損失△)	6,482	647	1,147	470	△1,081	△58	△181	3,495	△51	10,869

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳254百万円とのれん償却費△306百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プロパティ事業」セグメントにおいて建設仮勘定333百万円、「呉服関連事業」セグメントにおいて店舗資産9百万円の減損損失を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,453百万円	5,325百万円
のれんの償却額	249	306